



若者に急増中! 30代で立ち行かなくなる ジョブホッパーに要注意!

履歴書

氏名 菅 一郎

生年月日 1986年 11月 4日 (満 27歳)

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-12
東京千代田区千代田 1-12

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-12
東京千代田区千代田 1-12

年	月	学歴	職歴
2009	3	神田大学 経済学部 経済学科 卒業	
2009	4		△△株式会社 入社
2009	7		一身上の都合により退社
2009	10		株式会社□□□ 入社
2013	1		一身上の都合により退社
2013	2		株式会社○○○ 入社
2015	7		一身上の都合により退社

CHECK

ジョブホッパーとは?

転職回数が多く、 2~3年で次の職場

最近、特に若い人の中で問題になっているのがジョブホッパーと言われる短い期間で何度も転職を繰り返すパターン。高学歴でプライドが高い人に多く見られ、本人はどこに行っても理想の職場がない……と嘆き節だが、周りの環境に原因を求めすぎて次々と会社を転々としてしまう。結果的にどの職場でもスキルが身につく前に辞めてしまうケースが多発しているのだ。

採用担当の
印象悪いです!



人材コンサルタント
佐藤文男さん

- こんな人に多い
- ・高学歴でプライドが高い
 - ・コミュニケーション能力が低い
 - ・愚痴が多く待遇への不満が多い

佐藤人材・サーチ株式会社。ヘッドハンター歴18年。8月5日に「3年後、転職する人、起業する人、会社に残る人」を発売。

人材コンサルタント
佐藤文男さんに聞く

転職を繰り返さない 3か条!



自分の
状況を客観的に
判断しよう!

しっかりとした転職理由なしでは絶対NG。今の会社に不満をもって辞める人は自己分析が重要

1 その会社で実績を残す

自分に実力がなければいくら環境が変わろうと同じこと。今いる会社で実績が残せていないのであれば、当然次の会社でも無理なのだ。まず目の前の仕事に向き合ってしっかりと実績を出すことから始めよう

2 20代で一社のつもりで

若いうちから転職を繰り返すとその後職場を転々とする事になる。まず20代でしっかりと会社に勤めておこう。それこそ、20代は一社で考えておこう。20代で転職を2度したらジョブホッパーの始まりだ!

3 一生一社でも良いと考える

最近は一社に一生勤めるといよりは転職も人生の選択肢の一つという風潮。ただし、転職はリスクが伴うもの。一生一社に勤めても良いという心持ちで臨めばネガティブな理由での転職は防げるはず

その他ダメな経歴はコレ

空白が非常に長い

やはり仕事に対して熱意、気力のある人を企業側も求めている。とすると職歴に空白ができてしまうのはやる気なしとみなされる悪材料に

年齢に合ったスキルがない

他社でも通用する専門能力を有するのが本当にスキルのある人。年齢に応じたスキルがないと判断されたら採用担当のお眼鏡にかなうことはないので要注意

社内の部署を転々と異動

一概に部署異動がダメという訳ではないが、社内の開職をたらい回しにされている可能性も否定できない。異動理由が明確な場合はしっかりと記入しよう

前職をトラブルで退職

一社でトラブルを起こす人は当然次でも同じトラブルを起こすことが多い。経歴に解雇があるとトラブルメーカーと取られかねない。別の事由の場合は要説明

転職は安易な考えでは自分が不幸になるだけ!

インターネット上で「年収アップの転職!」など景気の良い言葉が並ぶバナーを目にする機会が増えている。時代の流れもあり、昔より転職がしやすくなっている。しかし、その陰で「ジョブホッパー」と呼ばれる人が急増しているのをご存知だろうか。様々な会社を転々と移り続けて、どの会社でも2~3年程度の短期間で辞めてしまう。経験豊富といえは聞こえはいいが、どの職場でも本当のスキル

が身につくのは3年以上の時間が必要なのに、それが身につく前に辞めてしまっているのが本人の意思とは裏腹にノースキル。また、転職原因が大抵ネガティブというのも特徴で、転職原因を自分ではなく外的環境に求めるため本人がまるで成長しないのだ。

このジョブホッパーは結果的には経歴にキズをつけることとなり、優良企業の採用担当の間ではNG経歴となっている。ジョブホッパーにならないために一度自分のキャリア形成を冷静に考えてみよう!

その転職ちよつと待った!